



オールインワンソーラー充電器インバーター 取扱説明書



製品タイプ HF4850S80-H

安全に関する重要な注意事項

このマニュアルは大切に保管してください。

本書には、オールインワンソーラーチャージインバーターHFシリーズの安全性、設置方法、操作方法など、すべての説明が記載されています。

設置および使用前に、この取扱説明書のすべての指示と注意事項をよくお読みください。

- オールインワンソーラーチャージインバーターの内部は、危険なレベルの電圧が発生します。漏電などによる人身事故を防ぐため、お客様ご自身で分解や改造などしないようお願いします。電気系統の専門技師にご相談ください。
- 修理が必要な場合は、弊社の保守担当者か販売会社へご連絡ください。
- 子供の手の届くところなどに設置しないでください。
- 湿気の多い、油分の多い、可燃性がある、爆発性の可能性がある、ほこりの多い場所など、インバーターに過酷な環境には事故の可能性がある場所への設置しないでください。
- 主入力とAC出力は高電圧です。配線端子には直接触れないようにしてください。
- オールインワンソーラーチャージインバーターの本体は、動作中は高温になります。火傷の可能性もありますので直接触れないでください。
- オールインワンソーラーチャージインバーターが動作しているときに、端子保護カバーは決して開けないでください。
- オールインワンソーラーチャージインバーターの外側に適切なヒューズまたはサーキットブレーカーを取り付けることをお勧めします。
- オールインワンソーラーチャージインバーターの設置や配線の調整を行う前に、必ずPVアレイ、主電源、バッテリーの端子付近のヒューズやサーキットブレーカーを取り外してください。
- 設置後は、結線不良による発熱が危険ですので、配線がしっかり接続されていることを再度確認してください。
- オールインワンソーラーチャージインバーターは、オフグリッドです。負荷の入力機器がこれだけであることを確認する必要があり、負荷電化製品の損傷を避けるために他の入力AC電源と並列に使用することは禁じられています。

もくじ

1. 一般商品情報	4
1.1 製品概要と特長	4
1.2 基本システム紹介	5
1.3 製品特性	7
1.4 寸法	8
2. インストール手順	9
2.1 インストール時の注意事項	9
2.2 配線仕様とサーキットブレーカーの選定	10
2.3 設置・配線	11
3. 動作環境	16
3.1 充電方式	16
3.2 出力モード	17
4. 液晶画面の操作方法	18
4.1 操作パネルと表示	18
4.2 操作説明	18
4.3 表示器の紹介	19
4.4 インジケータランプの紹介	20
4.5 設定パラメータの説明	21
4.6 電池の種類に関するパラメーター	26
5. その他の機能	28
5.1 ドライモーター	28
5.2 RS485/CAN 通信ポート	28
5.3 USB通信ポート	28
6. プロテクション（保護）	29
6.1 保護機能	29
6.2 障害コード 意味	30
6.3 部分的な不具合への対応	31
7. システム保守	32
8. 技術パラメーター	33

1. 基本情報

1.1 製品概要と特徴

HF4850S80-Hシリーズはハイブリッドインバーターで、48V系のバッテリー、ソーラーパネルとシステム構築することにより、AC100v/5000wの定格容量のAC電源システムを完成させます。

エネルギーの貯蔵は送配電会社のオングリッドの電力充電貯蔵、および太陽光発電によるオフグリッドを自動制御し、AC正弦波出力を可能にした全自動インバーターです。

DSP (Digital Signal Processing; デジタル信号処理) 制御アルゴリズムを採用、高機能の信頼性、および工業規格を実現させました。4種類の充電モード、太陽光発電、送配電電源優先、太陽光発電優先、送配電電源 + 太陽光発電が可能です。

2種類のオプション出力モード、さまざまなアプリケーションのニーズを満たす全自動転換を行えます。ソーラー充電モジュールには、最適化されたMPPT追跡技術を採用して、あらゆる設置環境に最大電力点を算出し、MPPTの広電圧範囲制御により、リアルタイムにソーラーパネル発電での最大エネルギーを得ることができます。

AC-DC充電モジュールは、適切にアルゴリズム制御することにより、電圧・電流のフルデジタルダブルクローズドループ制御を実現させ無駄なく充電を可能にしました。AC電圧入力広範囲と安全設計された入出力保護機能により、バッテリーを安定かつ確実に充電させた次世代オールワンインバーターです。

特徴

デジタル電圧、電流の二重閉ループ制御、高度な SPWM 技術採用により純粋正弦波出力

1. 主電源バイパスとインバーターの 2 WAY出力モードにより、無停電電源装置機能を実現
2. 4 WAY充電モード：太陽光発電、主電源優先、太陽光発電優先、混合充電
3. 最新MPPT技術により99.9% までの高効率エネルギー変換
4. MPPT広電圧範囲
5. 太陽光とAC主電源でリチウム電池を作動する機能により、鉛蓄電池とリチウム電池の接続をサポートします。

7. システムデータと動作状況を動的表示するための LCD 画面と 3 つの LED インジケータを備えた設計
8. AC出力制御用のON/OFF切替スイッチ
9. 無負荷損失を低減する省電力モードを搭載
10. 効率的に熱を放散し、システムの寿命を延ばすインテリジェント可変速ファン
11. 多くの保護機能を備えた360°オールラウンドプロテクション
12. 短絡の保護、使用後の際に電圧および電圧保護、過充電保護、逆充電保護、それぞれの保護機能
13. 混合負荷の機能装備です。バッテリーが接続されていない場合、太陽光発電と商用電源が同時に負荷に電力を供給できます（バッテリー充電がない場合は、商用電源を接続する必要があります）。バッテリー満充電になると、太陽光発電エネルギーを最大限に活用できるミックス負荷モードにも入れることができます。

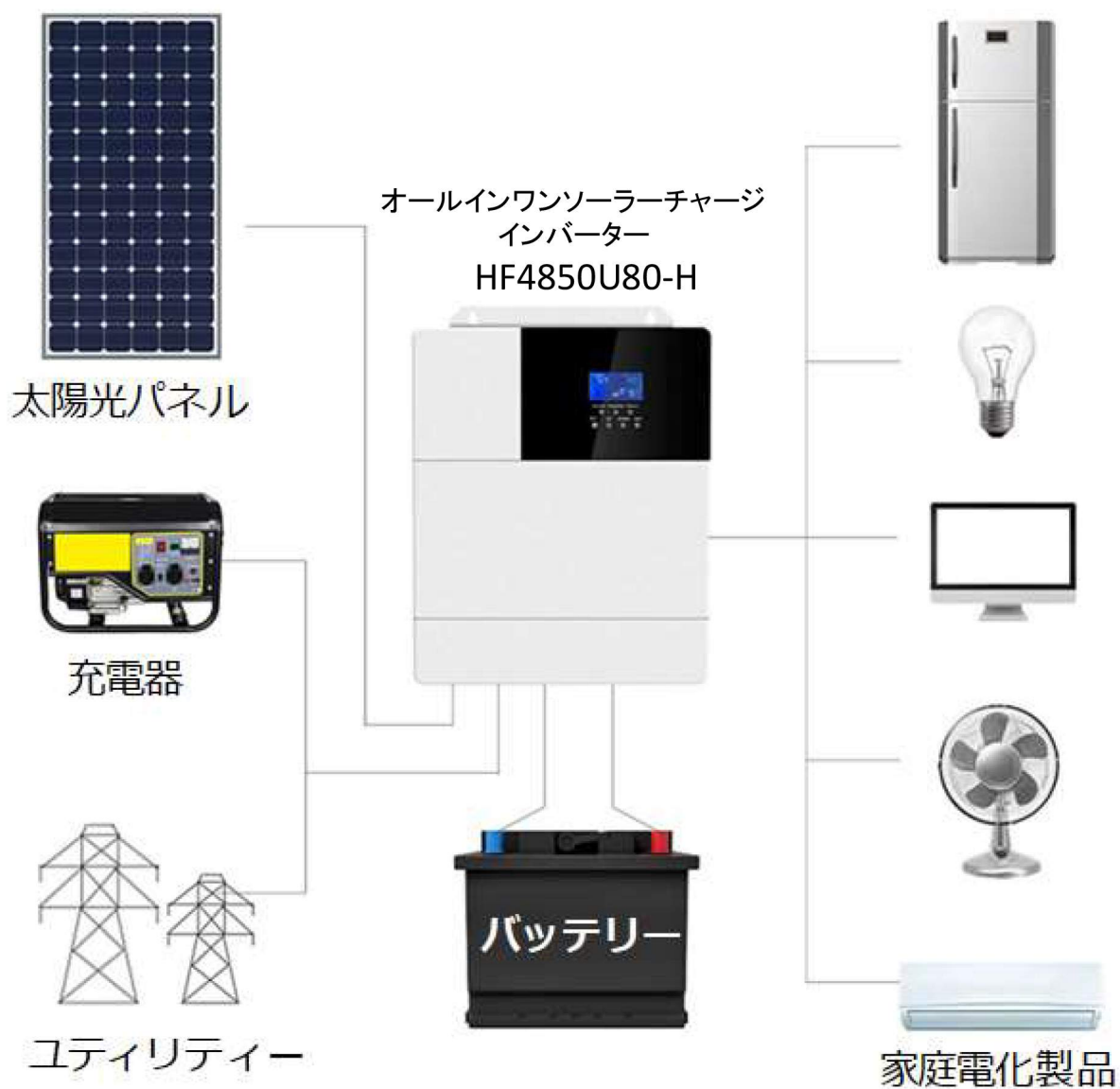
1.2 基本システム紹介

次の図は、本製品の応用システム状況を表したものです。A システムに次の部品が含まれます。

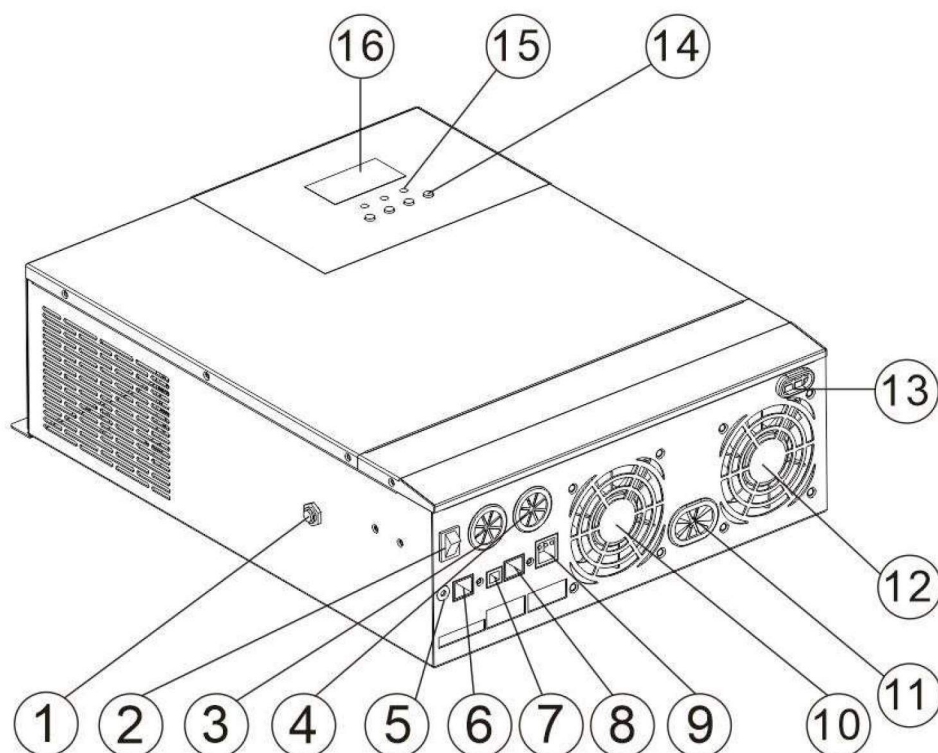
- 1. 太陽電池モジュール:** 光エネルギーを直流エネルギーに変換し、オールインワンマシンを介してバッテリーを充電するか、光エネルギーを直接交流に変換して負荷に電力を供給します。
- 2. 主電源または発電機:** AC 入力に接続すると、負荷に電力を供給し、同時にバッテリーを充電できます。主電源または発電機が接続されていない場合でも、システムは正常に動作します。このとき、負荷電力はバッテリーと太陽電池モジュールによって供給されます。
- 3. バッテリー:** バッテリーは、十分な太陽エネルギーまたは主電源が供給されていない場合に、システム負荷の通常の電力消費を確保するためのものです。
- 4. 家庭用負荷:** 冷蔵庫、ランプ、テレビ、扇風機、エアコンなどの AC 負荷を含む、さまざまな家庭用およびオフィス用負荷に接続ができます。
- 5. 反転制御一体型機:** システム全体のエネルギー変換装置

特定のシステム配線モードは、実際のアプリケーション シナリオによって決定されます。

基本システム

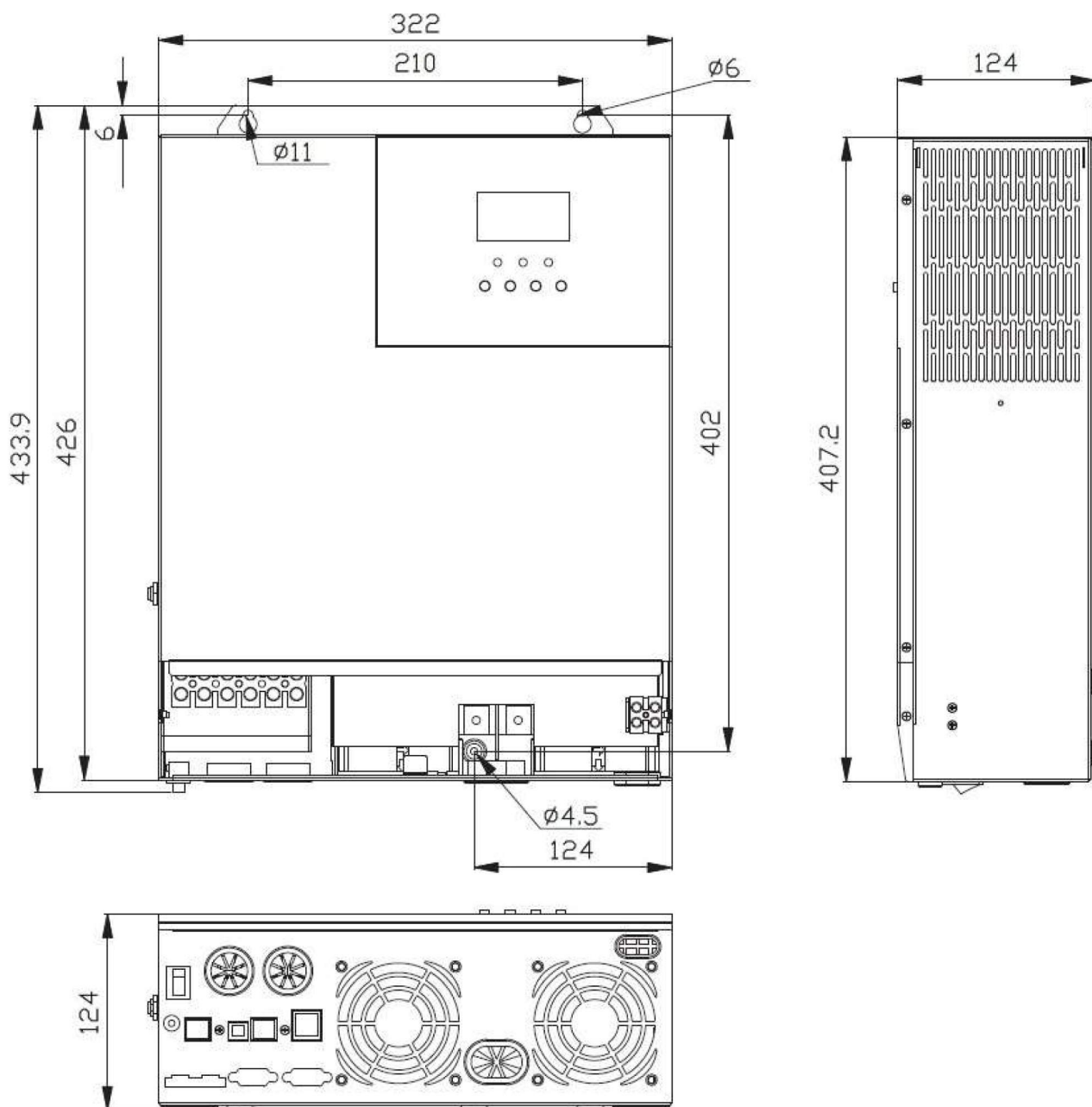


1.3 外観について



①	過負荷保護装置	⑨	ドライロード端子ポート
②	オン/オフ 切替スイッチ	⑩	冷却ファン
③	AC入力ポート	⑪	バッテリーポート
④	AC出力ポート	⑫	冷却ファン
⑤	接地ネジ留め	⑬	PV ポート
⑥	RS485-2 通信ポート	⑭	タッチボタン
⑦	USB通信ポート	⑮	LEDインジケーター
⑧	RS485-1 通信ポート	⑯	LCDスクリーン

1.4 製品寸法図



2. インストール方法

2.1 設置上の注意事項

取り付けの前にこの取扱説明書をよくお読みになり、取り付け方法をご理解ください。

- 取り付けの前にこの取扱説明書をよくお読みになり、取り付け方法をご理解ください。バッテリーの取り付けには十分注意してください。鉛蓄電池を設置する際は、安全ゴーグルを着用してください。バッテリー液に触れた場合は、適時きれいな水で洗い流してください。
- 電池の短絡を防ぐため、電池の近くに金属類を置かないでください。
- バッテリーを充電すると、酸性ガスが発生することがあります。そのため、換気をよくしてください。
- キャビネットを設置する際は、オールインワンソーラーチャージインバーターの周囲に熱放散のための十分な空間を確保してください。バッテリー動作時に発生する酸性ガスによる腐食を避けるため、オールインワンソーラーチャージインバータと鉛蓄電池を同じキャビネットに設置しないでください。
- オールインワンユニットの条件を満たしたバッテリーのみ充電可能です。
- 接続不良や腐食した電線は、大きな熱を発生し、電線の被覆を溶かしたり、周囲の材料を焼いたり、火災の原因になることがあります。そのため、モバイルアプリケーション時の電線の揺れによる接続の緩みを防ぐため、コネクタの締め付けや、結束バンドによる電線の固定を確認してください。
- システム接続用電線は、電流密度5A/mm² 以下を目安に選定しています。
- 屋外設置の場合は、直射日光や雨水の浸入を避けてください。
- 電源を切っても、本体内部には高電圧が残っています。コンデンサが完全に放電するまでは、内部の部品を開けたり、触れたり、関連する操作をしないでください。
- 完全に放電するまでは、内部の部品を開けたり触ったりしないでください。
- オールインワンソーラーチャージインバーターは、湿気の多い場所、油分の多い場所、可燃性・爆発性の場所、ほこりの多い場所など、過酷な環境には設置しないでください。
- このプロダクトの電池の入力端の極性は逆にしないでください。逆にすると、デバイス装置を傷つけるか、または予測不可能な危険が生じる可能性があるかもしれません。
- 主電源入力とAC出力は高電圧です。安全のため配線端子には触れないようにしてください。
- ファンが動作しているときは、怪我をしないように触れないようにしてください。
- 負荷装置の入力電源は、このオールインワンソーラーチャージインバーターが唯一の入力装置であることを確認する必要があるため、損傷を避けるために他の入力AC電源と並行して使用することは禁止されています。
- 負荷装置の入力電源は、このオールインワンソーラーチャージインバーターが唯一の入力装置であることを確認する必要があるため、システムの損傷を避けるために他の入力AC電源と並列に使用することは禁じられています。

2.2 配線仕様とサーキットブレーカの選択

配線および設置は国および地域自治体の電気工事に関する法令を遵守してください。

推奨する PV アレイの配線仕様とサーキットブレーカの選定方法 PV アレイの出力電流は接続方式や照射角度の影響を受けます。

PVアレイの出力電流はPVモジュールの種類、接続方法、照射角度に影響されるため、PVアレイの最小配線径はその短絡電流に応じて計算されます。PVモジュール仕様書の短絡電流値 (PVモジュールが直列接続されている場合は短絡電流は一定、並列接続されているすべてのPVモジュールの短絡電流を合計したものを)を参考にして、PVアレイの短絡電流は最大入力電流を超えてはいけないものとします。

- ・ PV入力線の線径とスイッチについては、下表を参照してください。

製品モデル	推奨線径	最大 PV 入力電流	推奨されるエアスイッチまたはブレーカーのタイプ
HF4850S80-H	6mm ² /10AWG	22A	2P-25A

注：直列の電圧は、最大 PV 入力開回路電圧を超えてはなりません。

- ・ 推奨される AC 入力線径とスイッチについては、以下の表を参照してください。

製品モデル	推奨線径	最大 PV 入力電流	推奨されるエアスイッチまたはブレーカーのタイプ
HF4850S80-H	10mm ² /7AWG	63A	2P-63A

注：主電源入力配線端子には適切な回路ブレーカーが既にあるため、もう1つ追加する必要はありません。

- ・ 推奨バッテリー入力線径とスイッチの選択

製品モデル	推奨線径	定格バッテリー放電電流	最大充電電流	推奨されるエアスイッチまたはブレーカーのタイプ
HF4850S80-H	30mm ² /2AWG	125A	80A	2P—200A

- 推奨される AC 出力配線仕様とサーキットブレーカの選択

製品モデル	推奨線径	定格バッテリー放電電流	最大充電電流	推奨されるエアスイッチまたはブレーカーのタイプ
HF4850S80-H	10mm ² /7AWG	42A	63A	2P-63A

注：配線径は参考値です。PVアレイとオールインワンソーラー充電インバーター間の距離、またはオールインワンソーラー充電インバーターとバッテリー間の距離が比較的に長い場合、太い電線を使用することで電圧降下を抑え、システム性能を向上させることができます。


注：上記は推奨配線径とサーキットブレーカのみです。実際の状況に応じて、適切な配線径とサーキットブレーカを選択してください。

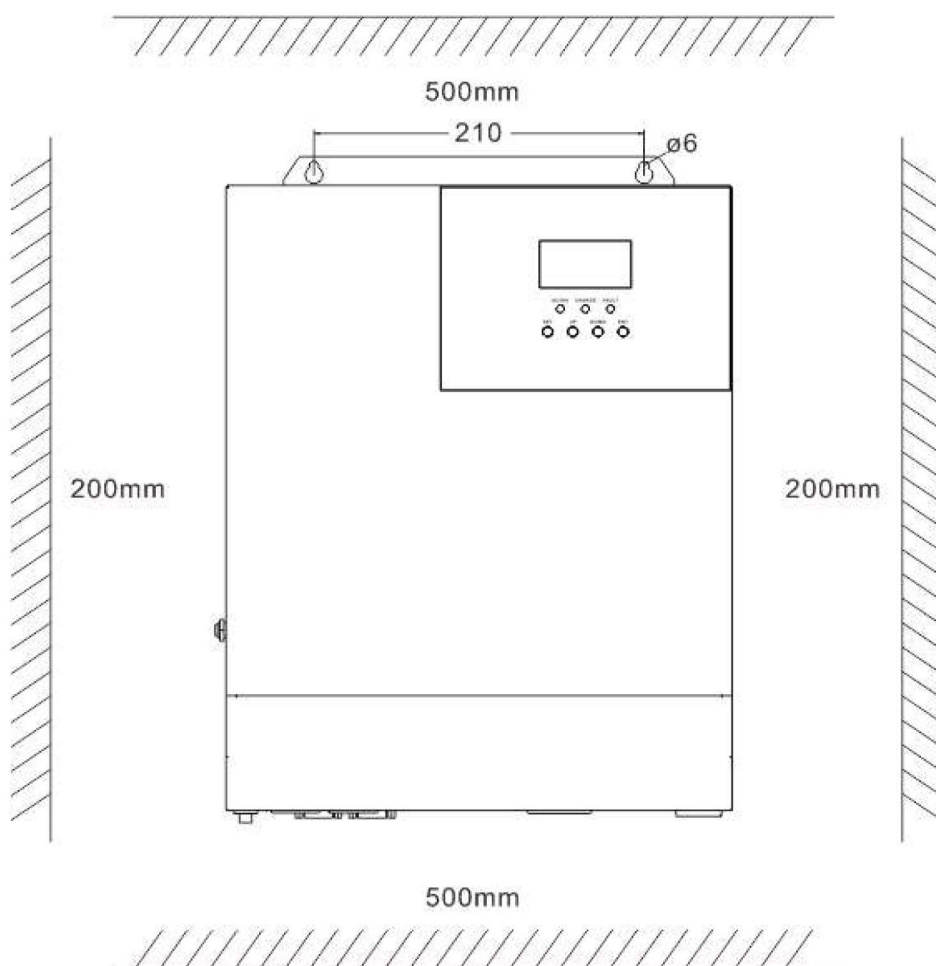
2.3 設置・配線

設置の手順：

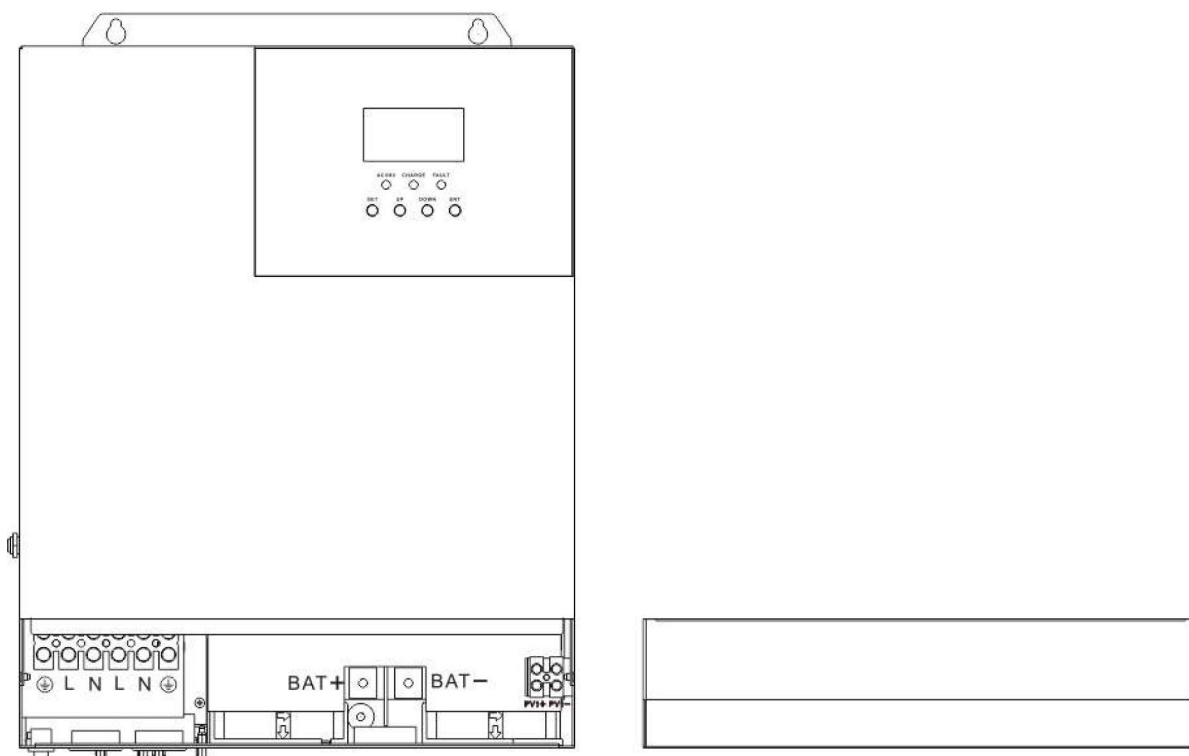
Step1：設置位置と放熱スペースを決定します。オールインワンソーラーチャージインバーターを設置する際、ヒートシンクに十分な空気が流れるようにし、自然対流熱放散を確保するためにインバーターの左右の排気口まで

少なくとも200mmのスペースを確保する必要があります。上記の機械全体の設置図を参照してください。

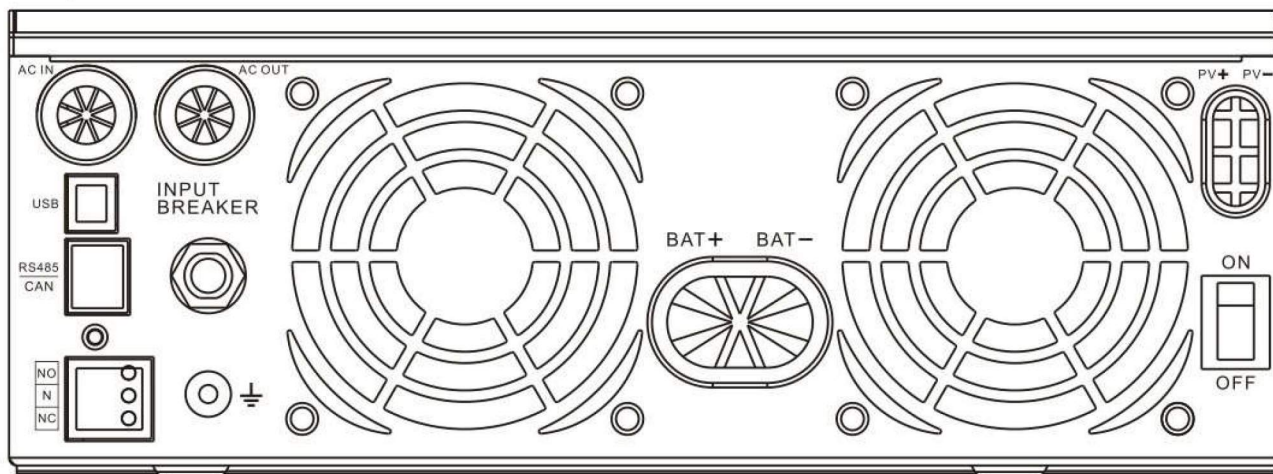
 **警告** 爆発する危険性があります。オールインワンソーラー充電インバータと鉛蓄電池は、絶対に同じ狭い場所に設置しないでください! また、電池のガスが溜まるような狭い場所には設置しないでください。



Step 2: 端子カバーを取り外す



Step3: 配線



AC入出力配線方法：

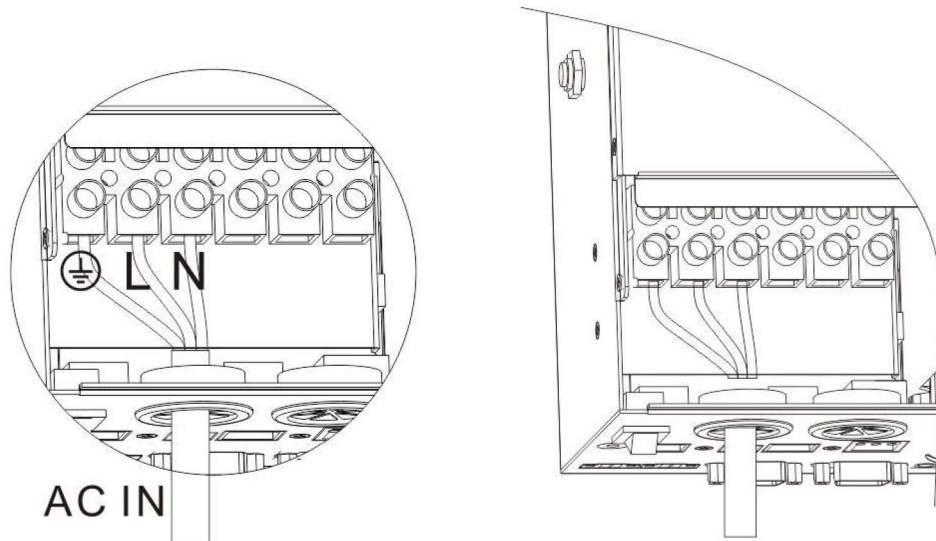
① AC入出力の配線は、外部ブレーカを切り離し、使用する電線の太さを確認した上で行ってください。配線仕様とブレーカの選定」をご参照ください。 セクション 2.2「配線仕様とサーキット ブレーカの選択」を参照してください。

② AC 入力の配線は、下図の配線順序、端子位置に従って正しく接続してください。最初にアース線を接続してから、活線（ライブ線）と中性線（ニュートラル）を接続してください。

⏏: グランド

L: ライブ

N: ニュートラル



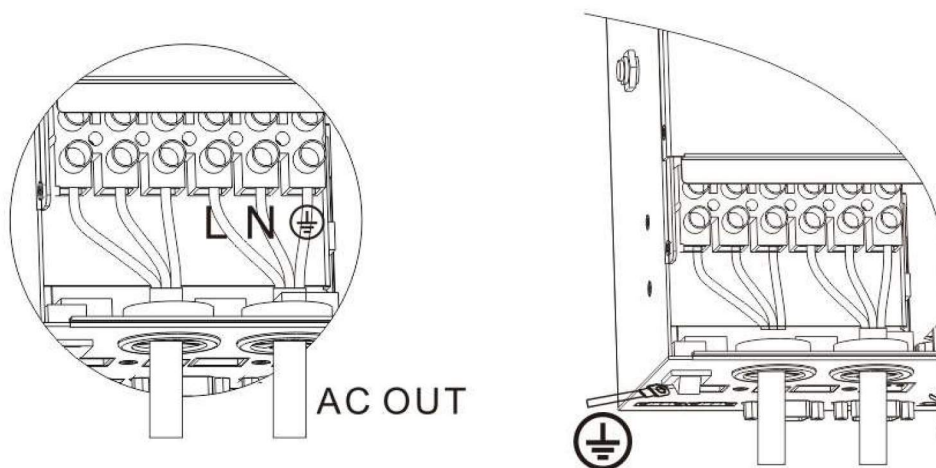
AC出力線は、下図の配線順序、端子位置に沿って正しく接続して下さい。

③ AC出力線は、配線順序と端子に合わせて正しく接続してください
下図の位置。最初にアース線を接続してから、ライブを接続してください
ワイヤーとニュートラルワイヤー。アース線は、O型端子を介してキャビ
ネットのアースネジ穴に接続します。

⏏: グランド

L: ライブ

N: ニュートラル



注: アース線はできるだけ太くする必要があります(断面積が4mm²) アース
ポイントをできるだけ複合機に近づけ、できるだけ短いアース線を選択
して下さい。

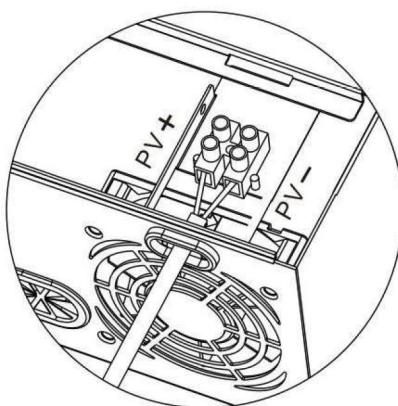
接地点は、オールインワンソーラーチャージインバーターにできるだけ近
づけてください。接地線は短いほどよい設置です。

PV入力配線方法：

- ① 配線前に外部ブレーカを切り離し、使用電線の太さが十分であることを確認してください。セクション 2.2「配線仕様とサーキットブレーカの選択」を参照してください。
- ② PV 入力線は、下図の配線順序、端子位置に従って正しく接続してください。

PV+: PV 入力正極

PV-: PV入力負極

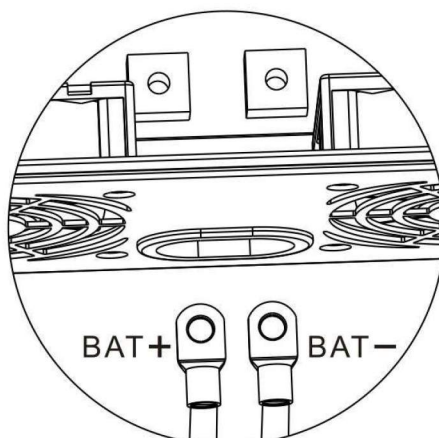


BAT配線方法:

- ① 配線前に外部ブレーカを切り離し、使用する電線の太さを確認してください。セクション 2.2「配線仕様とサーキットブレーカの選択」を参照してください。BAT線は、O型端子を介して本機に接続する必要があります。O型端子は内径5mmを推奨します。O型端子は内径5mmを推奨します。O型端子は、過大な接触抵抗による過度の発熱を防ぐため、BAT線をしっかりと押さえる必要があります。
- ② BAT線は、下図の配線順序と端子位置に従って正しく接続してください。

BAT+: バッテリープラス正極

BAT+: バッテリーマイナス正極



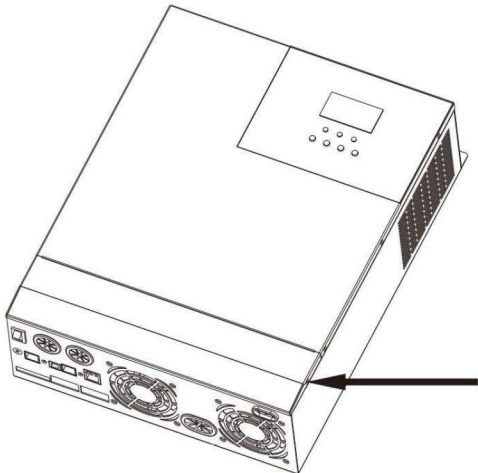
警告: 

① 主電源入力、AC 出力、および PV アレイは高電圧を発生します。配線する前に、必ず回路ブレーカーまたはヒューズを外してください。

② 配線には十分注意してください。配線中にサーキットブレーカーやヒューズを閉めず、各製品の「+極」と「-極」のリード線が正しく接続されていることを確認して作業をしてください。バッテリー端子にはサーキットブレーカーを必ず取り付ける必要があります。適切なサーキットブレーカを選択するには、セクション 2.2「配線仕様とサーキットブレーカの選択」を参照してください。配線する前に、強い電気火花を防止し、バッテリーのショートを避けるために、サーキットブレーカーを必ず切ってください。オールインワンソーラーチャージインバーターを雷の多い地域で使用する場合は、PV入力端子に外部避雷器を設置することをお勧めします。

Step 4: 配線が正しくしっかりしていることを確認します。特に、バッテリーの極性が逆になっていないか、PV 入力の極性が逆になっているか、AC 入力が入正しく接続されているかを確認してください。

Step 5: 端子カバーを取り付けます。



Step 6: オールインワンソーラーチャージインバーターの電源を入れる

まず、バッテリー端子のサーキットブレーカーを閉じてから、マシン左側のロッカースイッチを「ON」の状態にします。「AC/INV」インジケータの点滅は、インバーターが正常に動作していることを示します。PV アレイと主電源の回路ブレーカーを閉めます。最後に、負荷の同時投入による瞬時衝撃による保護動作を避けるため、AC出力が正常になった時点でAC負荷を1台ずつ投入してください。これで、設定されたモードによる通常動作に入ります。

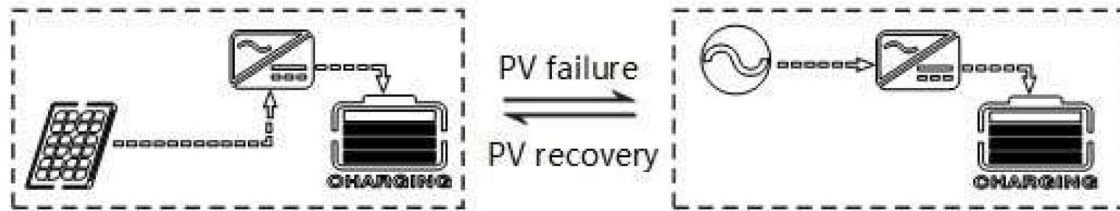
注: 異なる AC 負荷に電源を供給する場合は、最初にサージ電流の大きい負荷をオンにすることをお勧めします。負荷が安定した後、小さなサージ電流で負荷をオンにします。

注) オールインワンソーラーチャージインバーターが正常に動作しない場合、またはLCDやインジケータが異常な場合は、6章を参照して例外を処理してください。

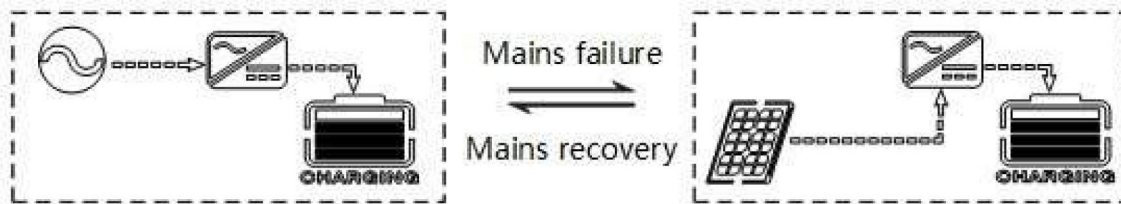
3.動作モード

3.1 充電モード

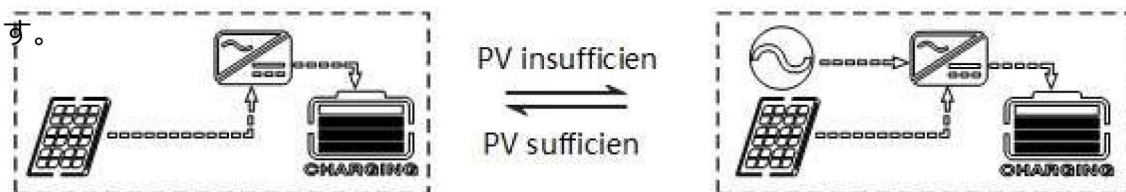
1)PV 優先モード: PVモジュールが優先的にバッテリーを充電し、PVシステムが故障した場合のみ主電源から充電されます。日中は太陽エネルギーを充電に使用し、夜間は主電源に変換します。これにより、バッテリー残量を維持することができ、送電網（グリッド）が比較的安定している地域や、電気料金が比較的高い地域に最適な充電方法です。



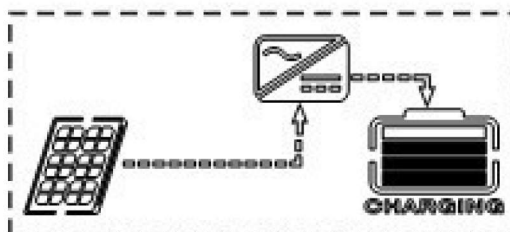
2) 主電源優先: 主電源はバッテリーの充電に優先的に使用されます。主電源が故障した場合にのみ、PV 充電を有効にすることができます。



3) ハイブリッド充電: PV発電 + 主電源のハイブリッド充電。PV MPPT 充電が優先され、PV エネルギーが不十分な場合は、主電源で補充されます。PV エネルギーが再び十分であるとき、主電源は充電を停止します。これは、電力網が不安定な地域に適した最速の充電モードで、いつでも十分なバックアップ電源を提供しま

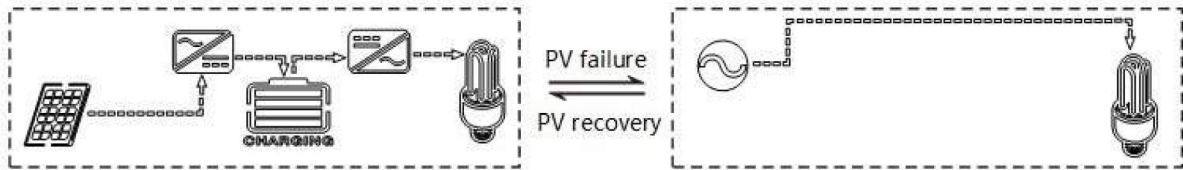


4) Only Solar (ソーラのみ) : 主電源による充電を行わず、太陽光発電による充電のみを行う方法。ソーラーパネルのみでバッテリーを充電する最もエネルギー効率の高い方法で、通常は照明条件の良い場所で使用されます。

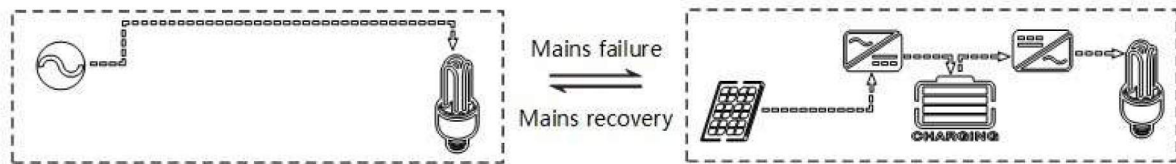


3.2 出力モード

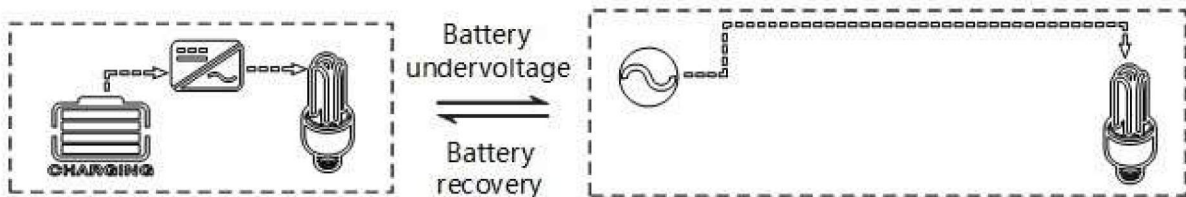
- **PV 優先モード:** 負荷はPV モジュールとバッテリーから給電されます。多様化充電モードと出力モードはオプションです。PV優先モードを選択すると、グリーンソーラーエネルギーの利用を最大化して、省エネと排出削減を実現できます。PV優先モードが選択された場合、緑の太陽エネルギーの利用は省エネと排出削減を達成するために最大化することができます。PV充電に失敗した場合は、主電源に切り替えます。このモードは比較的安定した格子が付いている区域の使用のために適した電池力を維持している間太陽エネルギーの使用を最大にします。



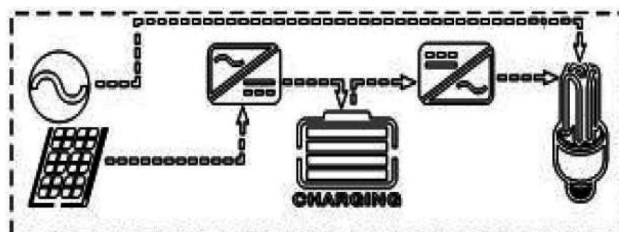
- **主電源優先モード:** 主電源が故障したときだけインバータに切り替えます。次に、ユニットはバックアップUPSと等しく、グリッドが不安定な地域での使用に適しています。



- **インバーター優先モード:** バッテリーが電圧不足のときにだけ主電源に切り替えます。このモードは、DC 電力の使用を最大限に利用し、安定した送電網のある地域で使用されます。



- **混合機能モード:** バッテリーが使用できない場合、またはバッテリーが満充電の場合の充電、負荷はPVと商用電源、PV最大出力電力出力。(MFのみ使用)

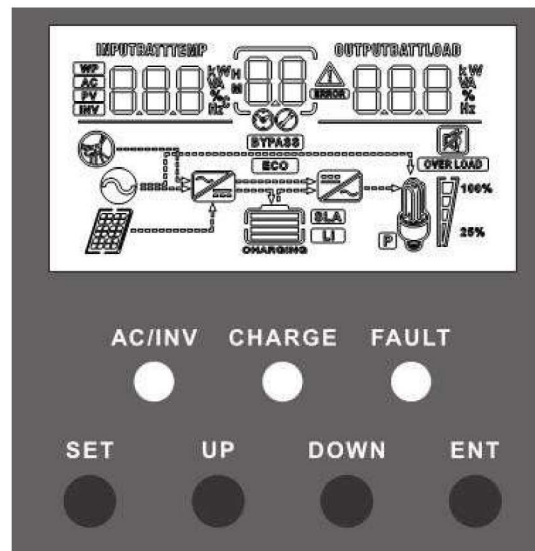


4. 液晶画面操作説明書

4.1 操作・表示パネル

4.2 操作説明

操作・表示パネルは下図のようになっており、液晶画面が 1 つ、表示器が 3 つ、操作ボタンが 4 つあります。



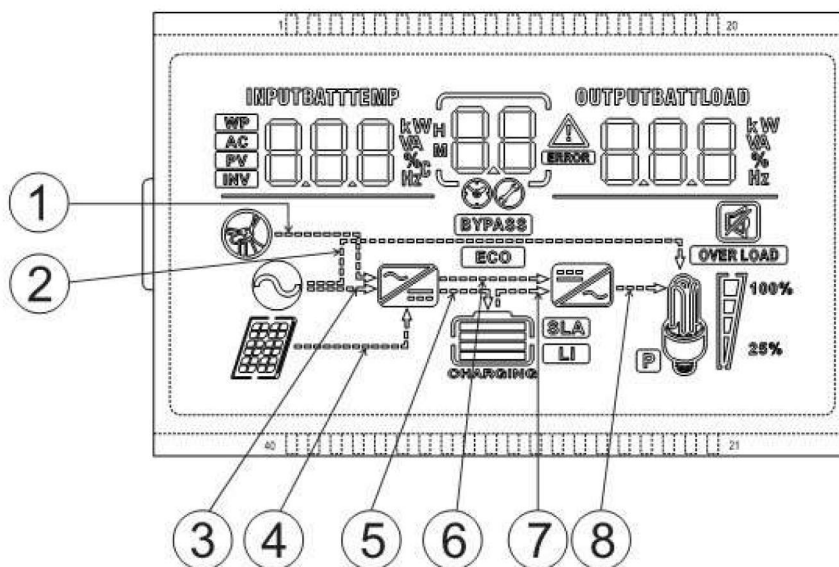
4.3 液晶画面操作

機能ボタン	説明
SET	設定メニュー 入/出
UP	前 選択
DOWN	後 選択
ENT	設定メニューの下の オプションを確認/入力

画面の詳細

指標	色	説明
AC/INV	黄色	点灯: 電源出力
		フラッシュ: インバータ出力
CHARGE	緑色	フラッシュ: バッテリー充電
		点灯: 充電完了
FAULT	赤色	常時点灯: 障害状態






4. 4 液晶画面紹介




アイコン	機能	アイコン	機能
	AC入力端子がグリッドに接続されたことを示す表示		インバータ回路が動作していることを示します
	APLモード（ワイド電圧レンジ）でAC入力モードであることを示します		本機が主電源バイパスモードであることを示します
	PV入力端子がソーラーパネルに接続されたことを示します		AC出力が過負荷状態であることを示します
	本機がバッテリーに接続されていることを示します		AC出力負荷のパーセンテージを示します。
	バッテリー残量が0%~24%であることを示します。 バッテリー残量が25%~49%であることを示します。 バッテリー残量が50%~74%であることを示します。 バッテリー残量が75%~100%であることを示します。		負荷率が0%~24%であることを示します。 負荷率が25%~49%であることを示します。 負荷率が50%~74%であることを示します。 負荷率が75%以上であることを示します。
	本機の電池の種類がリチウム電池であることを示します		ブザーが無効であることを示します

	本体の現在のバッテリー タイプが鉛蓄電池であることを示します		本体にアラームがあることを示します
	バッテリーが充電状態であることを示します		本体が故障状態にあることを示します
	AC/PV充電回路が動作していることを示します。		セットアップモードであることを示します
	AC 出力端子に AC 電圧出力があることを示します。		画面中央に表示されるパラメータ: 無設定モードでは、アラームまたは故障コードが表示されます。 セットアップモードでは、現在設定されているパラメータ項目コードが表示されます。

画面左側のパラメータ表示：入力パラメータ

	AC 入力を示します
	PV 入力を示します
	インバータ回路を示します
	このアイコンは表示されません
	バッテリー電圧、バッテリー充電総電流、主電源充電電力、AC 入力電圧、AC 入力周波数、PV 入力電圧、内部ヒートシンク温度、ソフトウェアバージョンを表示します。

画面右側のパラメータ表示：出力パラメータ

	出力電圧、出力電流、出力有効電力、出力皮相電力、バッテリー放電電流、ソフトウェアバージョンを表示します。設定モードでは、現在設定されているパラメータ項目コードの下に設定パラメータを表示します
---	---

矢印表示

①	矢印が表示されない	⑤	バッテリー端子を充電する充電回路を示します
②	負荷に電力を供給しているグリッドを示します	⑥	矢印が表示されない
③	充電回路に電力を供給するグリッドを示します	⑦	インバータ回路に電源を供給するバッテリー端子を示します
④	PVモジュールが充電回路に電力を供給していることを示します	⑧	負荷に電力を供給するインバータ回路を示します

リアルタイムデータ閲覧方法

LCD メイン画面で、「UP」および「DOWN」ボタンを押して、本体のリアルタイム データをスクロールします。

Page	画面左側のパラメータ	画面中央のパラメータ	画面右側のパラメータ
1	INPUT BATT V (バッテリー入力電圧)	障害コード	OUTPUT LOAD V (出力負荷電圧)
	PV TEMP °C (PV充電器ヒートシンク温度)		PV OUTPUT KW (PV出力電力)
3	PV INPUT V (PV入力電圧)		PV OUTPUT A (PV出力電流)
	INPUT BATT A (入力バッテリー電流)		OUTPUT BATT A (バッテリー出力電流)
5	INPUT BATT KW (バッテリー入力電力)		OUTPUT BATT KW (バッテリー出力電力)
	AC INPUT Hz (交流入力周波数)		AC OUTPUT LOAD Hz (交流出力周波数)
7	AC INPUT V (交流入力電圧)		AC OUTPUT LOAD A (交流出力負荷電流)
	INPUT V (メンテナンス用)		OUTPUT LOAD KVA (負荷皮相電力)
9	INV TEMP °C (AC 充電またはバッテリー放電 ヒートシンク温度)		INV OUTPUT LOAD KW (負荷有効電力)
	アプリのソフトウェア バージョン		ブートローダ ソフトウェア バージョン
11	モデル バッテリー電圧定格		モデル 出力電力定格
12	モデル PV 電圧定格		モデルPV電流定格

4.5 設定パラメータの説明

ボタンの操作方法：「SET」ボタンを押してセットアップメニューに入り、セットアップメニューを終了します。セットアップメニューに入ると、パラメータ番号 [00] が点滅します。ここで「UP」「DOWN」ボタンを押して、設定するパラメータ項目のコードを選択します。次に、「ENT」ボタンを押してパラメータ編集モードに入り、パラメータの値が点滅します。「UP」「DOWN」ボタンでパラメータの値を調整します。最後に「ENT」ボタンを押すとパラメータ編集が終了し、パラメータ選択状態に戻ります。

NO	パラメータ名	設定	説明内容
0	設定メニューを終了	[00] ESC	設定メニューを終了します
1	出力元の優先度	[01] SOL	PV 優先モード。PV に障害が発生した場合、またはバッテリーがパラメーター [04] の設定値を下回った場合に主電源に切り替えます。
		[01] UTI 規定値	主電源優先モード、主電源に障害が発生した場合にのみインバーターに切り替えます。
		[01] SBU	インバーター優先モード。バッテリー電圧が不足しているか、パラメーター [04] の設定値を下回っている場合にのみ主電源に切り替えます。
2	出力周波数	[02] 50.0	自己適応をバイパスします。電源が接続されると、電源周波数に自動的に適応します。主電源が切断されている場合、出力周波数はこのメニューから設定できます。120V 本体の基本設定の出力周波数は 60HZ です。
		[02] 60.0	
3	AC 入力電圧範囲	[03] APL	230V 本機の電圧範囲: 170~280V
		[03] UPS 規定値	230V 本機の入力電圧範囲: 90~280V
4	ラインへの バッテリー電圧	[04] 44 規定値	パラメータ [01] =SOL/SBU の場合、バッテリー電圧が設定値より低くなり、出力がインバーターから商用に切り替えられます。設定範囲: 44V~52V。14の設定電圧を超えない
5	インバータへの バッテリー電圧	[05] 57.6V 規定値	パラメータ[01]=SOL/SBUの場合、バッテリー電圧が設定値より高くなり、出力が商用電源からインバータに切り替わります。設定範囲: 48V~60V
6	充電器のソース優先	[06] CSO	PV優先充電; PV の充電が失敗した場合にのみ、主電源の充電が開始されます。
		[06] CUB	主電源優先充電; 主電源の充電が失敗した場合にのみ、PV の充電が開始されます。
		[06] SNU 規定値	PV と主電源のハイブリッド充電。PV の充電が優先され、PV エネルギーが不足している場合は、主電源の充電によって補われます。PV エネルギーが十分になると、主電源の充電が停止します。注: 主電源バイパス出力がロードされている場合にのみ、PV 充電と主電源充電が同時に機能します。インバーターが動作しているときは、PV 充電のみを開始できます。
		[06] OSO	PV 充電のみ、主電源充電は有効化されていません。

NO	パラメータ名	設定	説明内容
7	最大充電器電流	[07] 60A 規定値	設定範囲：0～80A；
8	バッテリータイプ	[08] USE	ユーザー定義：すべてのバッテリーパラメータを設定できます。
		[08] SLd	密閉型鉛蓄電池；定電圧充電電圧：57.6V、フローティング充電電圧：55.2V
		[08] FLd	ベント付き鉛蓄電池。定電圧充電電圧：58.4V、フローティング充電電圧：55.2V
		[08] GEL 規定値	コロイド鉛蓄電池；定電圧充電電圧：56.8V、フローティング充電電圧：55.2V
		[08] L14/L15 /L16	リン酸鉄リチウム電池 L14/L15/L16 リン酸鉄リチウム電池 14 弦/15 弦/16 弦に対応；16 弦/15 弦/14 弦デフォルト定数電圧充電圧力は、調整可能な56.8V、53.2V、49.6Vです。
	[08] N13/N14	三元リチウム電池：調整可能です。	
9	バッテリー ブースト充電電圧	[09] 57.6V 規定値	ブースト充電電圧設定；設定範囲は 48V ～ 58.4V で、ステップは 0.4V です。ユーザー定義のバッテリーとリチウムバッテリーに有効です
10	バッテリーブースト 充電電圧	[10] 120 規定値	昇圧充電最大時間設定とは、定電圧充電時にパラメータ[09]の設定電圧に到達するまでの最大充電時間のことです。設定範囲は5分～900分で5分刻みです。ユーザー定義電池とリチウム電池に有効です。
11	フロート充電電圧	[11]55.2V 規定値	フロート充電電圧、設置範囲48～58.4V、ステップは0.4Vで、バッテリーのタイプ [08] はUSEの時に有効
12	過放電圧	[12]42V 規定値	過放電圧、バッテリー電圧は設定値より低い際に、設置[13]のバッテリー過放電圧遅延時間に設置されているデータによりインバーター出力オフ。 設置範囲：40V～48V、ステップは0.4Vで、バッテリーのタイプ [08] はUSE、L14/L15/L16の時に有効

NO	パラメータ名	設定	説明内容
13	バッテリー過放電 遅延時間	[13] 5S 規定値	過放電遅延時間; バッテリ電圧がパラメータ [12] よりも低い場合、このパラメータで設定された時間だけ遅れてインバータ出力がオフになります。設定範囲は5S~55Sで5S刻みです。ユーザー定義電池とリチウム電池に有効です。
14	バッテリー不足 電圧アラーム	[14] 44V 規定値	バッテリー低電圧アラームポイント; バッテリ電圧がポイントよりも低い場合、不足電圧アラームが発生し、出力はオフになりません。設定範囲は40V~52Vの0.4V刻みです。ユーザー定義電池とリチウム電池に有効です。
15	バッテリー放電 限界電圧	[15] 40V 規定値	バッテリー放電限界電圧; バッテリ電圧がポイントよりも低い場合、出力はすぐにオフになります。設定範囲は40V~52Vで0.4V刻みです。ユーザー定義電池とリチウム電池に有効です。
16	バッテリー均等化有効	[16] DIS	均等充電無効
		[16] ENA 規定値	均等化充電が有効で、通気型鉛蓄電池と密閉型鉛蓄電池にのみ有効です
17	バッテリー均等化電圧	[17] 58.4V 規定値	充電電圧の均等化; 設定範囲: 48V~58.4V、0.4Vステップ; 通気型鉛蓄電池と密閉型鉛蓄電池に有効
18	バッテリー均等化時間	[18] 120 規定値	充電時間の均等化; 設定範囲: 5分~900分、5分刻み。通気型鉛蓄電池と密閉型鉛蓄電池に有効
19	バッテリー均等化 タイムアウト	[19] 120 規定値	充電遅延の均等化; 設定範囲: 5分~900分、5分刻み。通気型鉛蓄電池と密閉型鉛蓄電池に有効
20	バッテリー均等化間隔	[20] 30 規定値	均等化充電ディレーティング時間、0 ~ 30日、1日刻み; 通気型鉛蓄電池と密閉型鉛蓄電池に有効
21	バッテリーの均等化	[21] DIS	充電の均等化を直ちに停止します。
		[21] ENA 規定値	すぐに均等充電を開始します。
22	省電力モード	[22] DIS 規定値	省電力モードが無効になりました。
		[22] ENA	省電力モードが有効になった後、負荷がゼロまたは 50W 未満になると、一定時間遅れてインバータ出力がオフになります。負荷が 50W を超えると、インバーターは自動再始動します。

NO	パラメータ名	設定	説明内容
23	過負荷時に再起動	[23] DIS	過負荷が無効になったときの自動再起動。 過負荷が発生して出力がオフになると、マシンは再起動しません。
		[23] ENA 規定値	過負荷が有効になっている場合の自動再起動。過負荷が発生して出力がオフになると、マシンは3分遅れて再起動します。 累積5回に達すると、マシンは再起動しません。
24	過熱時に再起動	[24] DIS	過熱時の自動再起動が無効になっています。 過熱シャットダウンが発生した場合、マシンは再起動して出力をオンにしません。
		[24] ENA 規定値	過熱時の自動再起動が有効になっています。 過熱シャットダウンが発生した場合、温度が下がるとマシンが再起動します。
25	アラーム有効	[25] DIS	アラームは無効です
		[25] ENA 規定値	アラームが有効になっています
26	ソースが中断されている間にビープ音を優先して鳴らす	[26] DIS	メイン入力ソースの状態が変化したときのアラーム ビープ音を無効にします
		[26] ENA 規定値	メイン入力ソースの状態が変化したときにアラーム ビープが有効になります
27	過負荷時のバイパス出力	[27] DIS	インバーターが過負荷になった場合、主電源への自動切り替えは無効になります。
		[27] ENA 規定値	インバーターが過負荷になった場合、自動的に主電源に切り替えることができます。
28	最大 AC 充電器電流	[28] 40A 規定値	最大 AC 充電器電流。 設定範囲：0~40A
29	分割フェーズ	[29] DIS 規定値	工業用周波数変圧器の供給 無効
		[29] ENA	工業用周波数変圧器の供給 有効
30	RS485 アドレス設定	[30] 1 規定値	RS485通信アドレス設定範囲 1~254 (SLA設定時は[32]番が有効)
35	バッテリー 低電圧回復	[35] 52V 規定値	設定範囲 44V~58.4V
37	バッテリーが完全に充電された回復ポイント	[37] 52V 規定値	バッテリーが完全に充電された後、再充電する前に、この設定電圧よりも低くする必要があります
38	交流出力電圧設定	[38] 230Vac 規定値	設定可能： 200/208/220/240Vacv

4.6 電池の種類に関するパラメーター

鉛蓄電池の場合：

電池のタイプ パラメーター	密閉型鉛蓄電池 (SLD)	コロイド鉛蓄電池(GEL)	通気型鉛蓄電池 (FLD)	ユーザー定義 (User)
過電圧切断電圧	60V	60V	60V	60V
充電電圧の均等化	58.4V	56.8V	59.2V	40~60V
昇圧充電電圧	57.6V	56.8V	58.4V	40~60V (調整可能)
浮遊充電電圧	55.2V	55.2V	55.2V	40~60V (調整可能)
不足電圧警報電圧	44V	44V	44V	40~60V (調整可能)
低電圧切断電圧	42V	42V	42V	40~60V (調整可能)
放電限界電圧	40V	40V	40V	40~60V (調整可能)
過放電遅延時間	5s	5s	5s	1~30s (調整可能)
充電時間の均等化	120 minutes	-	120 minutes	0~600 minutes (調整可能)
充電間隔の均等化	30 days	-	30 days	0~250 days(調整可能)
ブーストチャージ 持続時間	120 minutes	120 minutes	120 minutes	10~600 minutes (調整可能)

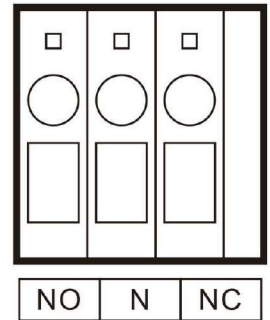
リチウムバッテリーの場合

電池タイプ	三元リチウム電池		リン酸鉄電池			リチウム ユーザー 定義 (USE)
	(N13)	(N14)	(N16)	(N15)	(N14)	
過電圧切断電圧	60V	60V	60V	60V	60V	60V
充電電圧均等化	-	-	-	-	-	40~60V (調整可能)
昇圧充電電圧	53.2V	57.6V	56.8V	53.2V	49.2V	40~60V
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)
フロート 充電電圧	53.2V	57.6V	56.8V	53.2V	49.2V	40~60V
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)
不足電圧警報電圧	43.6V	46.8V	49.6V	46.4V	43.2V	40~60V
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)
低電圧切断電圧	38.8V	42V	48.8V	45.6V	42V	40~60V
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)
放電限界電圧	36.4V	39.2V	46.4V	43.6V	40.8V	40~60V
						(調整可能)
過放電遅延時間	30s	30s	30s	30s	30s	1~30s
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)
充電時間の均等化	-	-	-	-	-	0~600分
						(調整可能)
充電間隔の均等化	-	-	-	-	-	0~250日
						(調整可能)
ブーストチャージ 持続時間	120分	120分	120分	120分	120分	10~600分
	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)	(調整可能)

5. その他の機能

5.1 ドライノード

動作原理: このドライノードは、ディーゼル発電機のオン/オフを制御してバッテリーを充電できます。① 通常、端子は NC-N 点が閉じており、NO-N 点が開いています。② バッテリー電圧が低圧断線点に達すると、リレーコイルに通電され、NO-N 点が閉、NC-N 点が開となります。この時点で、NO-N ポイントは抵抗負荷を駆動できます: 125VAC/1A、230VAC/1A、30VDC/1A。



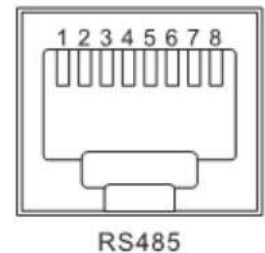
5.2 RS485/CAN通信ポート

RS485-1 と RS485-2 の 2 つの通信ポートと、2 つの機能があります。

① リチウム電池 BMS との RS485 通信は、このポート RS485-2 (カスタマイズが必要) を介して直接行うことができます。

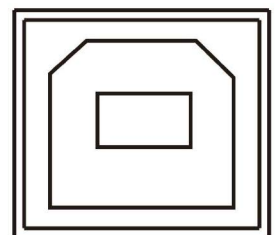
② RS485-1 は、当社が独自に開発した選択された RS485 to WiFi /GPRS 通信モジュールに接続されます。パラメータとリバースコントロール オールインワン マシンのステータスは、モバイル APP で確認できます。

③図のように：ピン1は5V電源です。ピン 2 は GND、ピン 7 は RS485-A、ピン 8 は RS485-B です。



5.3 USB通信ポート

CD-ROM 内のオプションの PC ホストソフトウェアとの USB 通信に使用できる USB 通信ポートです。このポートを使用するには、対応する「USB to シリアルチップ CH340T ドライバー」をコンピュータにインストールする必要があります。



6.プロテクション（保護）

6.1 保護機能

No.	保護	説明
1	PV電流/電力制限保護	構成された PV アレイの充電電流または電力が PV 定格を超えると、定格で充電されます。
2	PV夜間逆電流保護	夜間は、バッテリー電圧が PV モジュールの電圧よりも高いため、PV モジュールを介したバッテリーの放電が防止されます。
3	主電源入力過電圧保護	電源電圧が280Vac(230Vacモデル)を超えると、電源充電が停止し、インバーターモードに切り替わります。
4	電源入力低電圧保護	主電源電圧が170Vacよりも低い場合、主電源充電は停止され、インバーターモードに切り替えられます。
5	バッテリー過電圧保護	バッテリー電圧が過電圧切断ポイントに達すると、PV と主電源が自動的に停止してバッテリーを充電し、バッテリーの過充電や損傷を防ぎます。
6	バッテリー低電圧保護	バッテリー電圧が低電圧切断ポイントに達すると、バッテリーの放電が自動的に停止され、バッテリーが過放電して損傷するのを防ぎます。
7	負荷出力短絡保護	負荷出力端子に短絡故障が発生すると、AC出力はすぐにオフになり、1秒後に再びオンになります。3回試行した後、出力負荷端はまだ短絡状態にあるため、短絡障害を解消する必要があります。最初に負荷を下げてから、マシンの電源を入れ直して通常の出に戻します。
8	ヒートシンク過熱保護	内部温度が高すぎると、オールインワン マシンは充電と放電を停止します。温度が正常に戻ると、充電と放電が再開されます。
9	過負荷保護	過負荷保護の3分後に再度出力し、マシンの電源が再投入されるまで、過負荷保護を5回連続して行った後、出力をオフにします。特定の過負荷レベルと期間については、マニュアルの技術パラメータ表を参照してください。
10	PV 逆極性保護	PV の極性を逆にしても、機械が損傷することはありません。
11	AC 逆保護	バッテリー インバータ AC 電流がバイパスに逆入力されるのを防ぎます。

6.2 障害コードの意味

障害コード	障害名	出力に影響するかどうか	説明
【01】	BatVoltLow	Yes	バッテリー不足電圧アラーム
【02】	BatOverCurrSw	Yes	バッテリー放電平均電流過電流ソフトウェア保護
【03】	BatOpen	Yes	バッテリー未接続アラーム
【04】	BatLowEod	Yes	バッテリー不足電圧停止放電警報
【05】	BatOverCurrHw	Yes	バッテリー過電流ハードウェア保護
【06】	BatOverVolt	Yes	充電過電圧保護
【07】	BusOverVoltHw	Yes	バス過電圧ハードウェア保護
【08】	BusOverVoltSw	Yes	バス過電圧ソフトウェア保護
【09】	PvVoltHigh	No	PV過電圧保護
【10】	PvBuckOCSw	No	バック過電流ソフトウェア保護
【11】	PvBuckOCHw	No	バック過電流ハードウェア保護
【12】	bLineLoss	No	主電源オフ
【13】	OverloadBypass	Yes	バイパス過負荷保護
【14】	OverloadInverter	Yes	インバータ過負荷保護
【15】	AcOverCurrHw	Yes	インバータ過電流ハードウェア保護
【17】	InvShort	Yes	インバータ短絡保護
【19】	OverTemperMppt	No	バックヒートシンク過熱保護
【20】	OverTemperInv	Yes	インバーターヒートシンク過熱保護
【21】	FanFail	Yes	ファンの故障
【22】	EEPROM	Yes	メモリ障害
【23】	ModelNumErr	Yes	機種設定エラー
【26】	RlyShort	Yes	AC 入力をバイパスするための逆 AC 出力バックフィル
【29】	BusShort	Yes	内部バッテリーブースト回路の故障

6.3 部分的な不具合への対応

障害	対処方法
画面に何も表示されない	バッテリー エア スイッチまたは PV エア スイッチが閉じているかどうかを確認します。スイッチが「オン」状態の場合。画面上の任意のボタンを押して、画面のスリープモードを終了します。
バッテリー過電圧保護	バッテリー電圧が定格を超えているかどうかを測定し、PV アレイのエア スイッチと主電源のエア スイッチをオフにします。
バッテリー低電圧保護	低圧断線復帰電圧に戻るまで充電してください。
ファンの故障	ファンが回転していないか、異物によってブロックされていないか確認してください。
ヒートシンク過熱保護	デバイスの温度が回復温度以下に下がると、通常の充放電制御に戻ります。
バイパス過負荷保護、インバーター過負荷保護	① 動力設備の使用を減らす。② ユニットを再起動し、負荷出力を再開します。
インバータ短絡保護	① 負荷接続を注意深くチェックし、短絡障害ポイントをクリアします。② 電源を入れ直して負荷出力を再開します。
PV過電圧	マルチメータを使用して、PV 入力電圧が最大許容入力電圧定格を超えているかどうかを確認します。
バッテリー不在アラーム	バッテリーが接続されていないか、バッテリーの回路ブレーカーが閉じていないかを確認してください。

7.システム保守

- **最適かつ永続的な動作性能を維持するために、半年ごとに次の項目を確認することをお勧めします。**

- 1.オールインワンソーラーインバーターの周りの空気が滞留しないことを確認してください。さらに、ラジエーターからの汚れや破片を取り除きます。
- 2.露出したすべてのワイヤが、日光への露出、周囲の他の物体との摩擦、乾燥、昆虫やネズミによる咬傷などによって損傷していることを確認し、必要に応じてワイヤを修理または交換する必要があります。
- 3.指示と表示がデバイスの操作と一致していることを確認します。異常やエラー表示に注意し、必要に応じて対処してください。
- 4.すべての端子に腐食、絶縁体の損傷、高温または焼け/変色の兆候がないか確認し、端子のネジを締めます。
- 5.汚れ、虫の巣、腐食現象をチェックし、必要に応じて清掃してください。
- 6.避雷器が故障した場合は、故障した避雷器を適時に交換して、オールインワン マシンと他のユーザー デバイスを落雷の被害から保護してください



警告:

感電の危険! 上記の操作を行うときは、複合機のすべての電源が切断されていること、およびすべてのコンデンサが放電されていることを確認してから、それに応じて確認または操作してください。

- **以下の状況によって生じた機械的損失・損害について、弊社は一切の責任を負わないものとします。:**
 - ① 不適切な使用または不適切な場所での使用。
 - ② 太陽電池モジュールの開放電圧が最大許容電圧定格を超えている。
 - ③ 使用環境温度が使用温度範囲を超えている。
 - ④ 一体型ソーラー充電インバーターを無断で分解、修理すること。
 - ⑤ 不可抗力: 一体型ソーラー充電インバーターの輸送中または取り扱い中に発生した損傷。

8. 技術パラメーター

製品モデル	HF4850S80-H
ACモード	
定格入力電圧	220/230Vac (170Vac~280Vac) ±2% (90Vac~280Vac±2%)
周波数	50Hz/ 60Hz (Auto detection)
周波数範囲	47±0.3Hz ~ 55±0.3Hz (50Hz);
	57±0.3Hz ~ 65±0.3Hz (60Hz);
過負荷/短絡保護	遮断
効率	>95%
変換時間 (バイパスとインバータ)	10ms (typical)
AC 逆保護	利用可能
最大バイパス過負荷電流	40A
インバータモード	
出力電圧波形	純正弦波
定格出力電力 (VA)	5000(4100/4300/4500)
定格出力 (W)	5000(4100/4300/4500)
力率	1
定格出力電圧 (Vac)	230Vac (200/208/220/240Vac定格)
出力電圧エラー	±5%
出力周波数範囲 (Hz)	50Hz ± 0.3Hz
	60Hz ± 0.3Hz
効率	>90%
過負荷保護	(102% < 負荷 < 125%) ±10%: エラーを報告し、5分後に出力をオフにします。(125% < 負荷 < 150%) ±10%: エラーを報告し、10秒後に出力をオフにします。負荷 >150% ±10%: エラーを報告し、5秒後に出力をオフにします。
最大電力	10000VA

省電力モード	Load ≤50W
AC充電	
電池のタイプ	鉛酸またはリチウム電池
最大充電電流 (設定可能)	60A
充電電流エラー	± 5Adc
充電電圧範囲	40-60Vdc
短絡保護	サーキットブレーカーと溶断ヒューズ
サーキットブレーカ仕様	40A
過充電保護	アラームを鳴らし、1 分後に充電をオフにします
PV ソーラー充電	
最大 PV 開回路電圧	500Vdc
MPPT 電圧範囲	120~500Vdc
バッテリー電圧範囲	40~60Vdc
最大出力電力	5000W
PV充電電流範囲 (設定可能)	0-80A
充電短絡保護	ヒューズが溶断
配線保護	逆極性保護
認証仕様	
認証	CE(IEC62109)、RoHs
EMC認定レベル	EN61000
使用温度範囲	-15°C to 55°C
保存温度範囲	-25°C ~ 60°C
湿度範囲	5% to 95% (Conformal coating protection)
騒音	≤60dB

認証仕様	
認証	CE(IEC62109)、RoHs
EMC認定レベル	EN61000
使用温度範囲	-15°C to 55°C
保存温度範囲	-25°C ~ 60°C
湿度範囲	5% to 95% (Conformal coating protection)
騒音	≤60dB
熱放散	強制空冷、可変速ファン
通信インターフェース	USB/RS485(Bluetooth/WiFi/GPRS)/ドライノードコントロール
サイズ (L*W*D)	426mm*322mm*126mm
重量 (kg)	10.9